

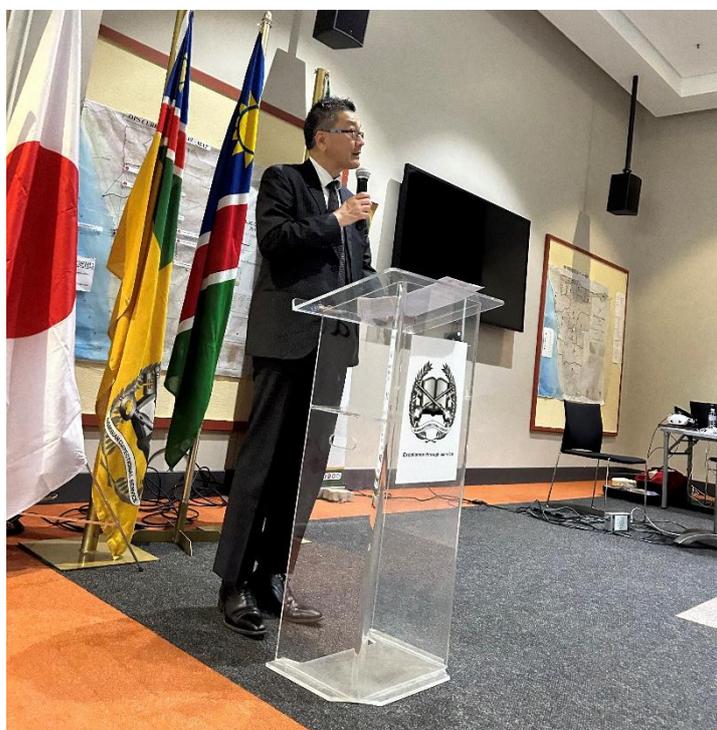
麻妻大使のヴァーチャル・リアリティ（VR）を通じた受刑者更生に関するワークショップ開会式への出席（令和8年3月10日）

令和8年3月10日、麻妻大使は、日本政府の支援を受けてナミビア矯正局が国連地域間犯罪司法研究所（UNICRI）と共催したヴァーチャル・リアリティを通じた受刑者更生に関するワークショップに出席し基調講演を行いました。

ハムンイエラ（Raphael Tuhafeni Hamunyela）ナミビア矯正局長官は歓迎挨拶の中で、本ワークショップがデジタル更生プロジェクトにおける重要な節目であると述べました。これは過去3年間にわたり協議、研究、協力を通じて築かれた強固な基盤をさらに発展させるものです。

麻妻大使は基調講演で、在ナミビア日本大使館が今後も本プロジェクトの推進を強力に支援するとともに、ナミビア矯正局との協力をさらに深化させていくことを表明しました。

本ワークショップは2026年3月10日から12日にかけて開催されています。2023年4月から、日本政府はUNICRIとの共同プロジェクトである「刑務所におけるデジタルリハビリテーションについての調査研究」に取り組んでいます。2026年は日本企業の協力を得て、ナミビアの刑務所におけるリハビリテーションプログラムに活用するためのVRツールを開発したことが特筆事項として挙げられます。



麻妻大使の基調講演



ハムンイエラ矯正局長官の挨拶



VR ツールの電モンストレーションの様子



記念撮影（ワークショップ参加者）